

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 平成30年度 総会・講演会を開催

平成30年度事業計画（案）と予算（案）が承認され、地下鉄延伸の実現に向けてさらなる気運醸成を図って参ります。

- 開催日：平成30年5月25日（金）11：30～
- 場 所：浦和ロイヤルパインズホテル4階「ロイヤルクラウン」
- 参加者：184名



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会（以下、期成会）の平成30年度総会並びに講演会を開催いたしました。

平成29年度の事業報告と決算報告に加え、延伸地域の関係機関とのさらなる連携強化と国への認可申請の早期実現を目標とした平成30年度予算・事業計画が承認され、当日は、さいたま市の清水市長、新藤市議会議長をはじめ、国会議員・市議会議員のご来賓をはじめとする期成会会員や市民の皆様、企業など多数の皆様にご参加いただき、盛会裏に終了いたしました。

期成会 江田会長あいさつ要旨

～活動目標に「国への認可申請の早期実現」を掲げ効果的な事業展開に意欲を示す～

開会に先立ち挨拶した江田会長は、本年は、期成会を設立して丸5年が経過し、本年度はさいたま市が設置した「地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸協議会」において、需要予測と費用対効果が国の補助制度の適用の目安を上回ったことが公表されるなど、延伸の実現化に大きな進展があったと述べ、次なるステップである国の認可申請の早期実現に向けて強い意欲を示しました。



さいたま市 清水市長あいさつ要旨

～実務レベルでの連携協議でさらに前進目指す～

清水市長は、期成会活動への感謝を述べるとともに、延伸実現を求める地元の皆様の熱意を感じている。平成28年度 交通政策審議会の答申で示された課題の解決に向けて、さいたま市が設置した「地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）延伸協議会」で鉄道と沿線地域のまちづくりについて意見をいただき、いくつかのケースを設定し試算した結果、事業性で都市鉄道等利便増進法適用の一般的な目安となる基準を超え、延伸実現の可能性が確認できた。

このことは、延伸実現に向けて明るい兆しが見え大きく前進したと考えている。

引続き埼玉県と共同で調査を進めるとともに、事業化に向けて実務レベルでの関係機関との連携協議など、さらに全力で取り組んで参りたいとの力強いご挨拶をいただきました。



講演会 参議院議員 古川 俊治 氏

～地域が一体となる重要性やこれからの展望～

総会終了後には、「地下鉄7号線延伸事業化の現状と早期実現への課題と展望」と題し、参議院議員 古川俊治氏による講演会を開催しました。古川氏より、採算制では国の補助制度適用の基準を上回った経緯から、沿線開発の課題をはじめ、地域が一体となる重要性やこれからの展望について講演をいただきました。